

【ご参考資料】

マミフラワーデザインスクール



マミフラワーデザインスクールは、1962年に創立した「日本で初めて」の本格的なフラワーデザインスクールです。

総長のマミ川崎が創設して以来、フラワーデザインの新しいありかたを提唱し続け、国内と海外に約350の教室を開設しています。

植物とのふれあいを通して日々の暮らしで楽しさを実感し、またその人ならではの想像力を高めていく。それが私たちが考えるフラワーデザインのありかたです。

フラワーアーティスト川崎景太をはじめとした約18万人の卒業生が様々なジャンルで、その人ならではの感性と技術をいかしながらいきいきと活躍しています。

マミフラワーデザインスクール総長

マミ川崎



北海道出身。1954年、アメリカのミズーリバレー大学卒業。帰国後、新聞記者として活動する。1962年、日本で初めてのフラワーデザイン学校「マミフラワーデザインスクール」を創設。以後、半世紀にわたり、日本のフラワーデザイン界の草分けとして、国内外で活躍を続ける。特に、その豊かな人間教育的視点には定評があり、講演や執筆を通じて、フラワーデザイン界のみならず多くの人々に影響と示唆を与えてきた。著書に、

『もっと素敵に花がさね』（廣済堂出版）、『無限の花』（講談社）、『花のむこうにみえたもの』（中央公論新社）、『生命の花』（講談社）、その他多数。

マミフラワーデザインスクール校長/花文化コメンテーター

川崎 景介



東京都出身。1989年、アメリカのグレースランド・カレッジ卒業。2008年、倉敷芸術科学大学修士課程修了。2006年より、マミフラワーデザインスクール校長を務める。花にまつわる世界各地の文化を、独自の視点で調査研究する「考花学」を提唱。大学や文化団体などでの活発な講演活動や執筆を通じて、花文化の啓蒙に尽力している。環境芸術学園日本フラワーデザイン専門学校講師。日本民族芸術学会員。著書に『花が時をつなぐーフローラルアートの文化誌ー』（講談社）、『花と人のダンスー読むと幸せになる花文化50話ー』（講談社エディトリアル）。